

学校と地域の協働実践セミナー 中南地区研修会

平成27年9月10日(木) 黒石市産業会館 参加者23名

学校と地域の協働実践セミナー中南地区研修会が、9月10日(木)黒石市産業会館で開催されました。今回は講師に弘前大学教育学部 講師 松本 大 氏をお迎えして、「子どもと共にある地域づくり」と題して、地域の教育力や学校と地域が協働することについて講義・演習をしていただきました。

地域の教育力とは？

地域の教育力を語るうえで大切なのは「地域の課題を解決する力」と密接な関係があります。地域の教育力とは、子どもの学びや成長を地域住民が支えるということだけでなく、地域課題解決に向けて住民がお互いに力を出し合いながら実践を行うという、地域の力そのままに関わることではないでしょうか。

地域に協働をつくるには？

地域に協働をつくるためには、以下のことが大切です。

- ・人と人とを結びつけるコーディネーターの役割が特に重要になってくる。
- ・コーディネーターが地域資源の発見を通して地域を正しく知り、住民の緩やかな参加の場を作っていくことが大切である。
- ・公民館は子どもや学校支援に共感する多様な人々を結びつける「つなぎ役」としての役割がある。

演習(情報交換会)

後半は、グループに分かれて情報交換会を行いました。情報交換会では、自己紹介、自分の担当(業務)、仕事を行う上での課題を出し合った後、それぞれの課題を解決するためにはどうするべきかを各グループで話し合いました。

〈参加者のアンケートから〉

- ・自分を含めて、地域を知ること、人と人とを結びつけるコーディネーターの存在の大切さに気付いた。また、一回限りの触れ合いではなく、継続的な触れ合いが人と人とを結びつけるものであると考えた。
- ・いろいろな意見を持った人と話せてよかった。同じ職業でも地域によっては、活動内容や待遇が違うことがわかりためになった。
- ・とても良い刺激になった。同グループ内の人、他グループの発表、見過ごしていたものが見え、分かち合うことができた。

〈講師紹介〉



松本 大 氏 弘前大学教育学部 講師

山形県出身 東北大学大学院教育学研究科博士課程後期修了 博士(教育学)

2009 東北福祉大学総合福祉学部 助教

2012 弘前大学教育学部 講師

講師 松本 大 氏



講義を聞く参加者



情報交換会の様子

